

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：疾病対策課
 担当名：感染症・新型インフルエンザ対策
 内線：3572 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B41	新型インフルエンザ対策事業費			一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	新型インフルエンザ対策事業費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 新型インフルエンザ等対策特別措置法			戦略項目	02 介護の安心		
						分野施策	010301 生涯を通じた健康の確保		
1 事業概要 新型インフルエンザの発生・流行に備えた医療体制等を確保することにより、県民の健康被害や社会的影響を最小限に抑える。 (1) 医薬品確保対策事業 7,895千円 備蓄医薬品保管料の入札差金発生による減額				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 医薬品確保対策事業 23,640千円 新型インフルエンザの流行に備え、抗インフルエンザウイルス薬を備蓄し、適切に保管する。 イ 医療体制等整備事業 70,644千円 新型インフルエンザの流行に備え、医療体制の確保及び検査体制の強化等を図る。 (2) 事業計画 ア 医薬品確保対策事業 (ア) 抗インフルエンザウイルス薬の適切な保管(タミフル133.9万人分、リレンザ29.92万人分) (イ) 抗インフルエンザウイルス薬の放出(新型インフルエンザ流行時における備蓄薬の搬出運搬) イ 医療体制等整備事業 (ア) 陰圧テントの購入(新型インフルエンザ発生時に医療機関に設置) (イ) 新型インフルエンザウイルスの検査(衛生研究所における検査) (ウ) 陰圧テントの設置(新型インフルエンザ発生時における県備蓄テントの活用) (エ) 医療体制整備促進事業(委託事業) (オ) 地域別対策会議の開催(13保健所各1回) (カ) 新型インフルエンザ専門家会議の運営(年3回会議開催) (キ) 九都県市新型インフルエンザ対策検討部会(会議、研修会等の開催) (3) 事業効果 発生時における県民の健康被害の抑制及び社会機能の維持 抗インフルエンザウイルス薬の行政備蓄量：タミフル133.9万人分、リレンザ29.92万人分(備蓄目標量を達成) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 九都県市で連携し、広域的な取組を推進。 (5) その他 【前年からの変更点】 感染防護セット使用期限に伴う購入、廃棄費用及び陰圧テント点検費用の減額 (6) 補正予算の概要 役務費：備蓄医薬品の保管契約更新(11月)による単価変更に伴う減額					
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10) (2) (県10/10)、(国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)衛生費(細目)2感染症等対策費 (細目)感染症等対策費 (積算内容)抗インフルエンザ薬購入費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円									
				財 源 内 訳					
予算額		国庫支出金						一般財源	補正後の 予算額
決定額	7,895							7,895	85,226
現計額	93,121	1,584						91,537	